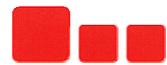




病児保育室だより (夏号)



大変蒸し暑い日が続いています。

病児保育室は、夏かぜのヘルパンギーナ、胃腸かぜ、水痘で入室する児が増えてきました。口の中が痛かったり、嘔吐・下痢で食欲がなかったり、高熱や咳でつらい様子うかがえます。

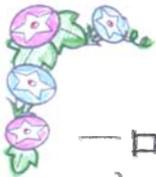
これから夏本番です。

お子さんは、楽しかったり、うれしかったりすると体力以上に遊んでしまいます。

水分補給、休息を心がけ、お子さんの体調を把握し、無理の無い生活をするようにしましょう。



女医先生に夏風邪で気をつけないといけない事をお聞きしました。



一口に夏かぜと申しましても
症状は多彩です。

高熱を発するタイプであれば
受診さしませんが、関節痛、発疹

下痢、嘔吐、元気がない、
ヨダレが多いなどは、様子を見る
ことになってしまうことが多いのです。

咳、鼻水だけが 風邪ではない
というのが、夏かぜで気をつけないと
いけないことです。咳、鼻水は
症状として多いからです。 国産



『じてんしゃにのるアヒルくん』
作：ディビッド・シャノン
訳：小川 仁央

『三びきのやぎのがらがらどん』
絵：マーシャ・ブラウン
訳：せた ていじ

『ダンデライオン』
作：ドン・フリーマン
訳：アーサー・ピナード

『ようこそあかちゃん』
作：ペリンダ・ダウンス
訳：せな あいこ



～ 子どものつぶやき ～

明日から家族で旅行へ行くY君に…

保：明日、旅行へ行くんだ。いいなあ…
どこへ行くの？知ってる？

Y：知ってるよ

保：どこへ行くの？

Y：旅行

どこへ行くか分からないけれど、気をつけて行ってらっしゃいね

奉仕体験

8月6日、9日

小学校の先生1名

病児としっかり向き合
い、関わって手ごたえを
つかんでください。

